

令和8年度 第1回 芳川北小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和8年5月14日（木） 14時00分から16時00分まで
- 2 開催場所 芳川北小学校 会議室
- 3 出席委員 河島 茂男、村松 真弓、金山 康乃、永田 三津子、栗田 美香
高橋 由典、青木 律子、本康 優子
- 4 欠席委員 鈴木 俊徳
- 5 オブザーバー 袴田 唯之（南陽協働センター）
- 6 学 校 高木 宏康（校長）滝川 宏美（教頭）宮本 朋典（CS担当教職員）
杉浦 秀祐（生徒指導担当）佐藤 富子（CSディレクター）
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 佐藤 富子
- 9 会長の選出及び副会長の指名
会長については昨年度同様継続して河島委員にお願いすることとなり、永田委員を副会長に指名し、全員異議なくこれを承認した。
- 10 議長の選出
村松委員より申し出があり、全員異議なくこれを承認した。
- 11 会議の記録
会長挨拶、校長挨拶、新規委員任命書の交付、教頭から浜松市学校運営協議会規則について、学校運営協議会の役割と自己評価について話がなされた。
また、委員の簡単な自己紹介があった。
- 12 熟議＜議長・村松委員＞
 - (1) 学校運営基本方針について
議長の指示により、校長から別紙資料に基づき学校運営基本方針について説明があり、委員からは以下の発言があった。
 - ・業務内容や変更についてよく分からないことが正直なところ、先生方は共通理解してやっているのだろうか？負担を軽減する為の変更だが、逆に負担が増えていたら本末転倒。
(村松委員)
 - ・教科書は授業時間45分で作られているが、40分授業になることで学べないところが出てくるのではないか、担任の裁量によって差が出ないのか心配。
(栗田委員)
 - ・子供に聞いてみても意味が分からない「サキドリ」が行われている感じだが、本人は違和感を感じていないようだ。1年後どのような成果が表れたのかを知りたい。
(高橋委員)
 - ・授業デザイン・プラスタイムの使い方を先生方一人一人に任せたままではいけない。時間割の柔軟化によって小学校で40分授業をし、中学でいきなり50分授業になると子供達は対応できるのか。学年で時間を変える柔軟化があっても良いのではないか。「サキドリ」が「先走り」になってはいけない、良いところだけを発信するのではなく、しっかり現状を見て伝えて欲しい。
(河島委員)

- ・「サキドリ」の授業デザインが大人の都合ではなく、子供のためになるものであって欲しい。 (村松委員)

基本的な事は学年主任を中心に学年や学年団で話し合っている。子供達にも「サキドリ」を意識させるアプローチを行い、徐々に理解をしてきている様に見える。検証方法や研究成果の発表も考えているので、御協力をお願いしたい。 (校長)

以上の熟議の結果、全員異議無くこれを了承した。

(2) いじめについて

担当杉浦より資料に基づきいじめ防止基本方針について説明があり、委員から以下の発言があった。

- ・いじめにあっていることを親・先生・友達にも言えない子がいる。 (永田委員)
- ・いじめられていることが言えれば半分解決しているようなもの。人に話すと酷くなると思い、話せない子もいる。一番大切なのは未然防止。 (河島委員)
- ・無自覚ないじめのトラブルも難しい。悪気はないので認識しづらい。みんなで気付けるようになると良い。 (村松委員)

学校で行われているアンケートやいじめホットラインで気付くこともある。いじめをなくすことが一番だが、難しい。見逃すことをなくしたい。 (校長)

以上の熟議の結果、全員異議無くこれを了承した。

(3) 学校運営協議会の自己目標の決定

担当宮本より説明があり、全員異議無くこれを了承した。

(4) 夢育やらまいか事業CS加算分に対する意見書について

教頭より今年度のクラブ活動について、昨年度同様、地域から専門的な知識・技能をもった方々をクラブ活動の講師として招聘し、人・もの・こととの触れ合いを通して豊かな心を育てていきたい旨の提案がなされ、全員異議無くこれを了承した。

14 その他報告事項等

金山委員よりなないろパレットの活動や今年度のクラブ活動についての説明がなされた。

校長より学習ボランティアについて説明がなされた。

南陽協働センター袴田さんより、改装工事中のため別会場で行う子供教室等の参加募集のちらし配付の依頼があった。

司会から、次回会議は令和8年7月29日(水)9時~11時 会議室、ほっとルームで開催する旨の報告があった。また、クラブ活動(5月15、22、29日)や授業参観が伝えられ、委員に対して参加を呼び掛け、会を閉じた。